

『表現力 書き方・見せ方・話し方』

正誤・補足情報

本書において編集上の誤りがありましたので、お詫びして下記のとおり訂正させていただきます。

対象版刷 [初版第1刷]

該当箇所		誤 (赤字)	正 or 変更後 (青字)
p.4	2～4行目	「書き言葉」と「話し言葉」の主な違いについては、すでに「4.1.1」で述べたが、ここで、おさらいの意味も含め、「書き言葉」を主体にもう一度確認してみることにする。	「書き言葉」と「話し言葉」の主な違いについては、「3.1.1」で改めて述べるが、ここでは「書き言葉」を主体とした主な違いについて表 1.2 に示すことにする。
	表 1.2	[表下に右記の注釈を追加→]	※網掛け部分はマイナス要素を示す。
p.6	⑦ 説明文末尾	(5.2 参照)。	(2.1～2.3 参照)。
p.7	本文 下2行目	「表 4.3」に示す4つの要件を～	「表 1.3」に示す4つの要件を～
p.49	表 2.1 内 下3行目	※「5.2.2 本論の代表的な構成法」を参照。	※「2.3.2 本論の代表的な構成法」を参照。
p.68	表 3.1	[表下に右記の注釈を追加→]	※網掛け部分はマイナス要素を示す。
p.191	15～16行目	計数→ 計算例: 計数管、計数に明るい	計数→計算 例: 計数管、計数に明るい
p.197	下4～下2行目	符号→しるし、記号 例: モールス符号、符号を付ける、 記述符号符合→一致	符号→しるし、記号 例: モールス符号、符号を付ける、 記述符号 符合→一致
p.201	各・表の1枠目	正 語	正 誤
p.204	■ら抜き言葉■ 本文3行目	ここでは、「4.2.3」で述べた“ら抜き言葉”について、	ここでは、「3.2.3 (5)」で述べた“ら抜き言葉”について、

(2018.03.14/2018.05.23 最終更新)